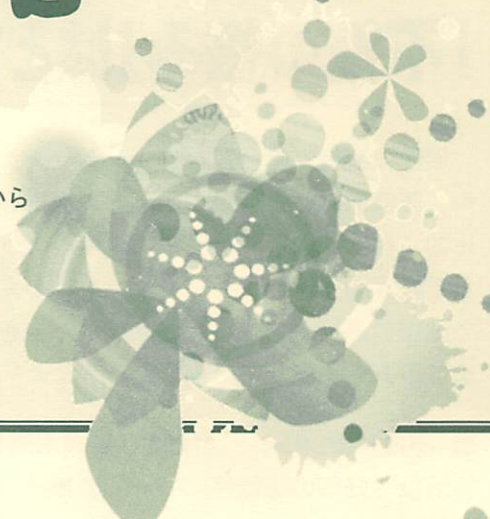


DAWN通信 第4号

ドーンつうしん

財団法人大阪府男女共同参画推進財団は

「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から
多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる
真に豊かな社会の実現に貢献します



「共感」から始まる第一歩

～はなみずきキャリア塾コーディネーターを務めて～

「仕事をより充実させる」と「生活をもっと楽しむ」は両方実現できると信じつつもどのように一歩踏み出せばいいのかわからない、それどころか前に進めていない自分に焦りを覚える…そんな時はありませんか。

今年5月に始まった「はなみずきキャリア塾」第一部では、関西の様々な業界で活躍する女性スピーカーのキャリアの軌跡、体験談などを語って頂いています。大勢の部下を率いる方、社会貢献の観点から起業された方、女性の感性を活かせる会社を起こされた方、趣味が高じ資格取得をされ本業にされている方等、関西にこういう方がいる事がわかるだけでも励みになる女性ロールモデルが毎月登場します。その雲の上の存在のようにも思えるスピーカーの皆さんから披露される体験談は、がんばりすぎて体を壊した、夫の転勤の度にキャリアを断たれた、子育てが一段落したら親の介護の問題が…など、逆境をどのように乗り越えてチャンスをつんだのかという具体的なお話です。実話ほど励みになるものはありませんよね。会場には「共感」の輪が広がります。

前向きなエネルギーが溢れるキャリア塾。素敵なキャリアの先輩たちとの出会いに毎回感謝しています。



「はなみずきキャリア塾」コーディネーター
毎日放送アナウンサー 八木早希

目次

「共感」から始まる第一歩
～はなみずきキャリア塾
コーディネーターを務めて～ 1

特集：
不妊専門相談センター機能を
担っています 2

講座・イベントのご案内
(1月～3月) 3

ドーンセンター情報 4

主催事業報告 5

賛助会・寄附のご案内 6

女性の“ワーク”と“ライフ”の充実をめざす「はなみずきキャリア塾」。好評開催中です。(詳細はP.4)

全国の都道府県には「不妊専門相談センター」が設置され、不妊専門相談や情報提供、こころのケアなどを行っています。大阪府では、ドーンセンターにおいて事業を展開。その企画・運営を当財団が担っています。(協力：社団法人大阪府助産師会)

「不妊の悩み」はとても複雑です ～納得の選択をサポート～

周囲の期待、社会的なプレッシャー、内からの責める声、医療をめぐる葛藤…。不妊の悩みとは、こうした文化的・社会的な背景が複雑にからみあった問題です。

不妊専門相談センターでは、かけがえのない人生の中で納得の選択ができるようなサポートをめざし、さまざまな事業を実施しています。

● 不妊にまつわる電話相談 毎週水曜日 10時～16時

治療や妊娠の可能性についての相談とともに、心理的な部分の話もうかがえます。ゴールの見えない不安、いつ治療をやめるかという迷い、パートナーとのデリケー

トな問題にも耳を傾け、一緒に考えます。不妊に“まつわる”というネーミングにもこうした意味を含め、個別のお悩みをお聞きし、心の負担の軽減を図っています。

● サポートグループ

「不妊」のこと話し合ってみませんか

同じような状況にある人たちが集まり、自分の気持ちや経験を語り合うことで、自分の状況を整理し、自信を取り戻して、一歩踏み出す力を得ていきます。

<参加者の声より> (第1期：10月～12月に開催)

- ・いつも一人で悶々と悩んでいましたが、心が楽になりました。
- ・自分の中にある複雑な気持ちが話せる仲間に出会えたことがとてもうれしかった。
- ・相談できる相手もでき、前に進もうと思います。この出会いをこれからも大切にしたいです。

● 不妊治療基礎セミナー

不妊治療のいま・これから (1月～12月)

不妊治療を始める前、または治療を選択するに際して、知っておきたい基本的な知識を提供するとともに、不妊をめぐる課題について考えるセミナーを開催しました。

<参加者の声より>

- ・最新の情報を具体的に示していただき、参考になりました。
- ・不妊治療において、経済的・時間的・身体的・気持ちの負担、とこんなに多くの負担がかかっていることを知りました。
- ・この問題は妊娠だけにとどまらず、女性や家族の人生、社会のあり方、法律など広い分野に関わる問題であることを再認識できました。
- ・不妊を通して、人生・生き方を考えるよい機会になりました。
- ・「どんな生き方をしたいかを大切に」を心に留めておきたい。
- ・男性側からも、いろいろと考えるきっかけとなりました。妻の精神的支えになればと思います。
- ・もっと声を上げられて、共有できる場ができることを望みます。



現在実施中・実施予定の事業については、P.3をご覧ください。

事業概要 (平成21年度)

■ こころとからだのケアのために

個別相談

■ 不妊にまつわる電話相談

グループ相談

■ サポート・グループ

からだのケア

■ リラクゼーション・ボディワーク

■ 情報の収集と提供

インターネット

■ ホームページの運営

資料展示

■ 情報フェア ■ 資料リストの提供

■ 納得の医療を選択するために

治療について知る

■ 不妊治療基礎セミナー

■ 不妊の予防と生涯にわたる健康のために

からだ・性を知る

■ からだと性の健康セミナー

不妊専門相談センター事業

1～3月

サポート・グループへのお誘い "不妊"のこと、話し合ってみませんか

ゴールの見えない不安、いつ治療をやめるかという迷い、社会的な偏見や圧力、家族やパートナーとの関係…。同じ立場の人どうし、自分の気持ちを語り合い、経験や痛みをわかち合える場です。

無料

- 日 程：2010年1月23日～3月13日
10:00～12:00 毎週土曜日・全7回
※1/30は休み
- 会 場：ドーンセンター和室（4F）
- ファシリテーター：清輔裕子（助産師）
矢野恵子（助産師、不妊カウンセラー）
- 対 象：テーマが自分の問題と感じる女性で、
原則全回参加できる方・15名（先着）

不妊専門相談センター事業

「不妊にまつわる電話相談」を行なっています

☎ 06-6910-8655 毎週水曜日 10:00～16:00

不妊専門相談センター事業

2/6(土)

女性のための リラクゼーション・ボディワーク

からだの声に耳を傾けてみませんか

からだをゆっくりほぐすことで、心身のバランスを整えるボディワーク。からだを意識し、こころとからだをつなぐことで、自分と向き合うきっかけをつくりまします。

無料

- 日 時：2010年2月6日（土）
【午前コース】10:30～12:30
【午後コース】14:00～16:00
- 会 場：ドーンセンター多目的ルーム（地下1F）
- 講 師：安政ゆ（パフォーマー、ヨガインストラクター）
- 対 象：各コース：女性25名（先着）

不妊専門相談センター事業

2/16(火)

生涯にわたる健康のために からだを知ってセルフケア

月経・妊娠・出産、避妊や性感染症など、思春期から成人期における女性のからだところについての正しい知識を得るとともに、医療の現場からみえる女性を取り巻く現状について理解を深めます。

無料

- 日 時：2010年2月16日（火）14:00～16:00
- 会 場：ドーンセンター大会議室1（4F）
- 講 師：甲村弘子（大阪樟蔭女子大学大学院
人間科学研究科教授、医学博士）
- 対 象：テーマに関心のある方・50名（抽選）

不妊専門相談センター事業

2/20(土)

自然なからだを取り戻す 女性のための整体法

「整体」とは、自分の心と体に向き合い、内側から体を整えていくことです。整体を実践・指導されている講師をお招きし、整体法とその考え方について学びます。実際にからだを整えるワークショップも行います。

無料

- 日 時：2010年2月20日（土）13:30～16:30
- 会 場：ドーンセンター視聴覚スタジオ（5F）
- 講 師：野村奈央（整体ライフスクール主宰）
- 対 象：テーマに関心のある女性・40名（抽選）

不妊専門相談センター事業

3/20(土)

産科医・大野明子さん講演会 「お産と生きる」「いのちを産む」「子どもを選ばないことを選ぶ」「分娩台よ、さようなら」の著者 いのちを産むということ

無料

大野明子さんは、自然なお産と母乳育児を追究されている産科医です。ご自身の仕事を「女性が産む力・育む力を最大限に発揮できるよう全力でお世話すること」と語ります。あたりまえに産むことが難しくなってしまった時代に、大野さんの仕事から「今、なぜ自然なお産なのか」そして「いのちを産むということ」について考えます。

- 日 程：2010年3月20日（土）14:00～16:00
- 会 場：ドーンセンター特別会議室（5F）
- 対 象：テーマに関心のある方・96名（抽選）

ACCJ関西支部助成、はなみずき基金事業

12～3月

生涯にわたりキャリアを創る力をつけることをめざします

はなみずきキャリア塾

女性のキャリアの軌跡は多様です。各回の働く女性の実例を通して、テーマを深く掘り下げ、問いかけ、新しい考え方や自分の働き方・生き方を主体的に選び取るのに必要な力を獲得します。そして女性たちのネットワークをドーンセンターに創っていきます。

- 定員：各日女性50名
- 参加費：各日2,500円



<C 女の仕事を考える>

- ・12/26 第1部：決断する
第2部：働く女性のメンタルヘルス
- ・1/23 第1部：働き方を選ぶ
第2部：自分らしさとメイクアップ

<D 人間関係を築く>

- ・2/27 第1部：頑張り主義、完全主義を排す
第2部：家族について
- ・3/27 第1部：感情をコントロールする
第2部：社会貢献をする

はなみずき基金事業

1/15(金)・16(土)

第34回 ドーン・シネマクラブ

山形国際ドキュメンタリー映画祭2009 女性監督シリーズPartII 「世界の女性監督が描く現在(いま)」

- とき：2010年1月15日(金)・16日(土)
- ところ：視聴覚スタジオ(5F)
- 上映作品：
 - 「ハルビン螺旋階段」(監督:季丹/2008/中国/109分)
 - ・YIDFF2009「アジア千波万波」特別賞受賞
 - 「されど、レバノン」(監督:エリアン・ラハブ/2008/レバノン/58分)
 - ・YIDFF2009「アジア千波万波」奨励賞受賞



JICA受託事業

1月

アフガニスタン国

「女性の貧困削減プロジェクト」研修

JICA(独立行政法人国際協力機構)から委託を受け、標記研修を実施します。

この研修では、アフガニスタン政府がジェンダー主流化の視点で、多様な機関と連携・協働しながら、困難な状況にある女性のための経済的エンパワメント支援体制をつくることをめざします。

政府職員12名がお越しになります。

- 期間：2010年1月16日～29日(予定)

大阪府受託事業

1/20(水)

男性向けセミナー

男の介護が社会を変える

今や、主たる介護者の4人に1人は男性。誰もが介護に直面する時代です。男性介護研究・支援に関わってこられた講師を迎え、男性介護についての理解を深めます。

いざというときの情報提供もあります

- 日時：2010年1月20日(水)19:00～21:00
- 会場：ドーンセンター大会議室2(5F)
- 講師：津止正敏(立命館大学産業社会学部教授、
男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長)
- 対象：男性50人

無料

雇用・能力開発機構大阪センター受託事業

2月～3月

母子家庭の母親等を対象とした 職業訓練コース を開催します

母子家庭の母親等を対象に、就業にむすびつく職業訓練を提供します。ほぼ1カ月にわたるカリキュラムは、パソコンスキルの習得をめざすパソコン実技講習と、就職活動に役立つ就業準備講座とで構成します。カリキュラムの履修を通して、母子家庭の母親等が自立に向けての就業の第一歩を踏み出せるように支援するコースです。

- 2月コース：2010年2月2日(火)～27日(土)
- 3月コース：2010年3月2日(火)～21日(日)
- ※18日間、計108時間
- 定員：各コース30名
- お問い合わせ：TEL 06-6910-8616 へお電話ください。

大阪府受託事業

1月～2月

企業の人事労務担当者のための研修プログラム

「あなたの係、あなたのチームの」女性社員のメンタルヘルスなどをテーマに開催予定です。

ドーンセンターが さらに利用しやすくなりました

● 会議室でインターネット利用が可能になりました

パソコンをお持ち込みいただくとインターネットに接続することが可能になりました。

<利用可能会議室>

- 1F：パフォーマンススペース／4F：大会議室3
- 5F：大会議室2、特別会議室、セミナー室2
- 7F：ホール

● パフォーマンススペースにカーテンを設置しました

1Fパフォーマンススペース入口開放部分にカーテンがつけました。これによって、スペースがより孤立的にご利用いただけること、外光が遮断されること、付近の気配が気にならなくなったなど舞台関係者や一般利用の皆さんにもご好評をいただいています。

詳しくは、ドーンセンター3F 施設利用窓口（TEL 06-6910-8500）へお問い合わせください。皆様のご利用をお待ちしています。



ピックアップ 主催事業報告

ジェンダーに敏感な視点を持ち、社会で活躍する次世代を育成する 夏期インターンシップ・プログラムを実施しました 8/11~9/12

ドーンセンターをまるごと活用したインターンシップ。今年は大学3年~修士1年までの7名が参加。ハイライトでご報告します。

8月

8/11, 12 オリエンテーション&職員による特別講義

ドーンセンター・財団の概要説明、館内見学、接遇研修、そして昨年企画し大好評だった職員講義「ライブセミナー：ドーンセンターの仕事」を、特別企画として実施しました。（写真：理事長による講義）



女子の進学率は、男子の進学率よりも、親の収入に影響を受けていることに驚きました。

8/18, 19 教員研修「豊かな国の〈貧困〉：若年女子の現状と今後」受講

今年の教員研修のテーマは「女性の貧困」。貧困の背景にあるグローバル化と社会構造を読み解く講義、教育や賃金、就労などの男女別データのギャップなどを確認。女性の置かれている厳しい現実が浮かび上がりました。実習生グループも意見をまとめて発表。参加された先生から「教え子の数年後としての大学生の意見を聞く貴重な機会でした」との声をいただきました。

「ランチゼミ」参加

館長主宰のランチゼミに参加。職員との交流を深めました。



8/22 「はなみずきキャリア塾」運営体験

働く女性の生の声を聞く機会になりました。

「DVIは精神的にズタズタにされてしまうことを思い知りました」
「暴力の連鎖を断ち切るには、長期的な支援が必要だとわかりました」

8/26, 27 「配偶者からの暴力被害者支援基礎セミナー」運営

配偶者からの暴力に関する質の高い相談対応をめざす研修。運営・受講しました。

情報ライブラリー書架整理作業

DV関連テーマ展示資料の選書も行いました。

9/8~11 日常業務体験

後半のプログラムは日常業務体験。6つのプロジェクトを協力し合って進めました。

9月

成果報告プレゼンテーション

実習の成果報告会を実習生自らが企画・運営。理事長以下多くの職員が参加し、短期間での成果に感銘を受けました。



9/12 「就労応援フェア」運営

最終日は4Fフロアを借り切った就労応援イベント。運営にも慣れて大活躍してくれました。



地道な仕事の積み重ねの上に事業が成り立っていることを知りました。

9/30 実習レポート提出

◆「賛助会カード2009」を発行しています

賛助会カードは、個人会員の方に配布しているカードです。
次のような特典があります。

- ・財団が発行する定期刊行物（DAWN通信等）の送付
- ・財団指定の主催セミナー講習会等の参加割引
- ・財団主催の文化芸術事業（映画等）を賛助会員価格にてご案内
- ・賛助会員交流懇談会等への無料招待
- ・ドーンセンター近隣協賛施設での割引（個人のみ）



例えば…

◆「ドーン・シネマクラブ」ご鑑賞の場合
一般 1,300 円→賛助会員 1,000 円

◆当財団主催講座をご受講の場合
一般 20,000 円→賛助会員 18,000 円
(講座によって受講料が異なります。上記金額は一例)

◆喫茶ゆいまーる(ドーンセンター1F)
ランチタイム 10%OFF
(ランチセット)一般 850 円→賛助会員 765 円
ティータイム 20%OFF
(ケーキセット)一般 700 円→賛助会員 560 円
(コーヒー)一般 350 円→賛助会員 280 円

◆レストランリヴィエール(大阪キャッスルホテル7F)
ランチタイム 10%OFF
ディナータイム 20%OFF

◆メンバー・川面(大阪キャッスルホテル7F)
ビール or グラスワイン or ソフトドリンク1杯プレゼント
(チャージ料 550 円/1人 は別途必要)

◆入会・継続ありがとうございます！ ～2009年度 賛助会員のみなさま～

8/21～11/20 ご入会の方々（敬称略・入会順）

■個人

辰己 昌治／森 栄子／丹上 務／森本 裕／西辻 達也／
西上元数／萱村 勝利／藤田 良和／大橋 敏弘／岡田 昌子
／津村 明子／箱田 一夫／伊藤 誠／竹山 栄治／清水 由
喜／北山 博一／山登 敏男／升間 晶子／中山 義英／
三好 敬子／中塚 伸雄／森谷 恭子 他65名

■企業

株式会社タツミ
株式会社宣成社 他1社

■寄付者

藤田 良和／山登 敏男 他1名

* ご了承いただいた方
のみ掲載しています

◆賛助会員募集中!

当財団は1994年創立以来、ドーンセンターを拠点に、男女共同参画社会の実現をめざして大阪府からの受託をはじめ、財団自主事業を展開しています。例えば、働く女性のためのセミナー、男性のための講座、行政や学校教員を対象とした研修、職場における女性活躍推進等、企業で研修を企画される際の情報相談や資料の貸し出し、女性のメンタルヘルス支援事業等を実施しております。（詳しくはホームページ <http://www.ogef.jp/> をご参照ください。）私たちとともに豊かな男女共同参画社会を築いていきませんか。

【年会費】（4月から翌年3月までの年度制となります）

・個人	一口	3千円
・団体	企業等	一口 1万円
	非営利団体	一口 5千円

【振込先】

郵便振替口座 00900-9-155214

口座名 財団法人大阪府男女共同参画推進財団

☆通信欄に『賛助会員 年会費(口数)』と、お名前、ご住所、電話番号、メールアドレスをご記入ください。

◆寄附を受付けています

事業運営に有効活用させていただきます。ご寄附は賛助会費とは違い期限などがありません。どなたでも500円から受付けています。

【賛助会・寄附に関する問い合わせ先】

総務グループ TEL：06-6910-8625

お便り募集！ 「DAWN通信」へのご意見・ご感想などお寄せください。 info@ogef.jp